



春日小だより

平成24年 1月10日
練馬区立春日小学校
校長 菊岡 紀子
学校通信 1月号

共に育てる

校長 菊岡 紀子

明けましておめでとうございます

平成24年が始まりました。皆様におかれましてはよい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一人一人の子供たちが、大きく成長できる年になれるよう教職員一同力を合わせ指導・支援していきたく思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



素晴らしき仲間

昨年を一字で表すと「絆」という言葉が選ばれました。東日本大震災以来、人と人とのかけわりが見直されています。お互いを思いやり助け合おうとする心は大きく育みたいものです。

新年早々にテレビで日本体育大学の女子の集団行動の演技を見る機会がありました。男子の集団行動は伝統でもあり一糸乱れぬ姿に息を呑むほどですが、女子では初めての取り組みだそうです。清原伸彦監督の指導の下で44人が一ヶ月の厳しい練習に耐え、直前でも成功させることができなかつた演技を、本番で成功させた様子は視聴している側にも感動を与えていました。監督の「人間やればできる」、選手の「途中で投げ出さなくて良かった」という言葉に目頭が熱くなりました。

「一人はみんなのために みんなは一人のために」を合言葉に厳しい練習に耐え、人と人との繋がり、人と人との助け合いの姿、まさにチームが一丸となり、素晴らしい仲間と共に築き上げたものだと思います。

本校でも教職員の弛まぬ努力の姿が子供たちを指導する力となり、一人一人の大きな成長に繋がっています。春日小学校のチーム力を高め、更なる発展に結び付けていきたいと考えます。

小中一貫教育の推進

練馬区では今年度、小中学校の連携強化と小中一貫教育の研究推進のため10グループ・22校を立ち上げました。

これは国の動向やこれまでの小中連携の成果を踏まえ、小中学校が連携・協力して義務教育9年間を見通した教育課程の下で実施する教育活動です。

子供たちが望ましい学校生活を送るためには、小中学校の教師が互いに生徒指導面あるいは学習面での情報を共有し合い、共に育てていこうとする意識をもつことが出発点となります。また、子供たちが共に活動し、体験を共有する機会を意図的・計画的につくることによって、人間関係づくりを促すことに繋がります。

春日小学校では、練馬中学校と共にこの研究推進グループとして今年度から2年間に亘り取り組んでいます。

既に、本校では練馬中学校とは生徒会による6年生への中学校の学校紹介や中学校2年生の職場体験を受け入れたり、中学校の先生による出前授業等を実施したりして行っていました。今年度はさらに教科指導にも広げて取り組んでいます。

中学校の英語科教員による小学校の外国語活動の授業参観、中学校教員を含めた本校での理科の研究授業参観および研究協議会への参加、6年生の理科の授業で、中学校の理科担当の先生と共同の教材研究を行い、問題別授業の1つのグループを直接指導する取り組みも行いました。

今後も充実発展する中で一貫教育が進められるようにしていきたいと考えます。

